

20180518 秋田県など東北北部での豪雨災害 (5/21 10:00更新)

saigaiinfo.jp/

※2018/05/21 10:00現在

5月18日、秋田県を中心に東北北部で記録的な大雨となりました。被害状況としては、各地で土砂崩れが発生。河川も雄物川などで氾濫し、岩手県一関市では増水した川の様子（所有の船）を見に行った男性が行方不明となっています。住家被害は、21日9時現在、床上浸水53棟、床下浸水172棟（秋田県災害対策本部）となっています。浸水地域では水田等もあり、田畑の浸水面積は現時点で3700ヘクタール以上と農業被害も大きくなっています。秋田県内、過去の二度の豪雨災害もあり、この時期での災害時、不安の声も多く聞かれています。



気象概況

18日、前線に伴う活発な雨雲が東北北部にかかりつづき、1日で東北各地で5月（平年）の降水量1か月分を上回りました。そのうち、秋田県では激しい雨となり、秋田市で18日18時までの24時間雨量が140.0ミリを記録（観測史上最高）しています。

<今後の見通し>

しばらく川が増水している状況は続き、地盤も緩んでいるため、気象庁・気象台は、20日の明け方にかけて、河川が増水や氾濫、土砂災害等に警戒するよう呼びかけています。大気的不安定な状態もしばらく続く見込みで、落雷や突風などにも注意が必要とのことです。

河川状況

※用語について（[木曾川上流河川事務所](#)）

洪水（こうずい）：大雨や雪どけなどによって河川流量が普段より増大したり、氾濫すること。

氾濫（はんらん）：河川などの水があふれ広がること。

溢水（いっすい）、越水（えっすい）：川などの水があふれ出ること。堤防がないところでは「溢水」、堤防のあるところでは「越水」を使う。

※冠水エリア詳細については、[秋田県の被害報](#)16、20ページをご参照ください。

氾濫発生（国土交通省）

・雄物川

-2018/05/19 04:25 大仙市協和峰吉川付近と寺館付近の2カ所で雄物川が氾濫

「職員が同3時ごろ河川の氾濫を確認した。田んぼが冠水しているが、住宅への被害は出ていないもよう」

-2018/05/19 06:25 秋田市雄和向野地区付近で雄物川が氾濫

「巡回中の職員が同6時ごろ、氾濫を確認した。周囲の水田が浸水しているが、住宅への被害は確認していない」

【浸水発生状況(外水のみ記載、内水含まず)】

○確認日時 平成30年5月19日(土)AM3時頃 確認

○浸水箇所 ①雄物川46k付近(左岸) 大仙市協和峰吉川地区

②雄物川46k付近(右岸) 大仙市寺館地区

③雄物川36k付近(左岸) 大仙市大沢川地区

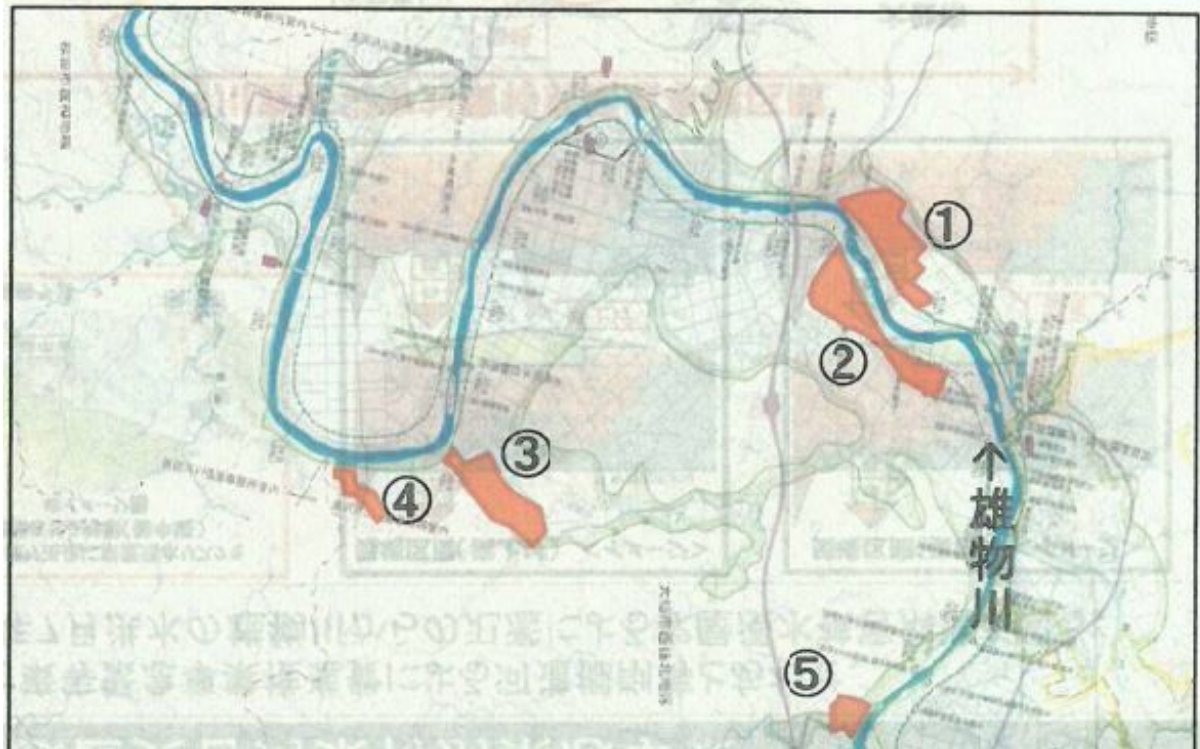
④雄物川35k付近(左岸) 大仙市正手沢地区

⑤雄物川53k付近(左岸) 大仙市物渡地区

○浸水状況:無堤部の溢水、農地等が浸水、外水による住家浸水無し

○浸水範囲:約199ha(①約68ha、②約70ha、③約41ha、④約13ha、⑤約7ha)

○被害状況:詳細調査中





※出展：湯沢河川国道事務所（秋田県被害報）

溢水発生（秋田県）

県管理河川：

・16河川（米代川、新城川、馬場目川、馬踏川、豊川、三種川、小又川、猿田川、太平洋川、芋川、淀川、後川、櫛岡川、大沢川、土買川、入見内川）

冠水等の情報（報道）

- ・馬場目川（氾濫危険水位超）：流域の水田が広範囲で冠水
- ・三種川（三種町）：流域の田んぼや育苗用ハウスが一部で冠水
- ・保量川（男鹿市船川港船川）：周囲の道路が冠水

被害状況

人的被害

行方不明：1名（岩手県一関市、川に所有する船の確認に行った男性（85歳））

住家被害

浸水被害（19日16時現在、秋田県）

市町村名	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
北秋田市					1
上小阿仁					1
能代市					1
三種町				2	4
井川町				2	16
秋田市				20	33
男鹿市	1	1	1	2	13
潟上市				17	31
五城目町				6	22
八郎潟町				4	42
由利本荘					1
大仙市					7
横手市			1		

土砂崩れ等

秋田県内：63か所、けが人の報告なし（19日16時現在、市町村—NHK調べ）

- ・秋田県男鹿市脇本浦田で、住宅の裏山が崩れ（斜面が縦、横それぞれ15メートル）、土砂の一部が住宅に流れ込んだ（けが人なし）（NHK報道）
- ・秋田県男鹿市脇本浦田で、住宅の裏山が崩れ（縦、横それぞれ30メートル）、土砂が住宅1階の居間に流れ込んだ（NHK報道）

【報道】

- ・「[2年続けこんな目に 記録的大雨、一つ森で土砂崩れ【動画】](#)」（2018/05/20 秋田魁新報）

各地で土砂崩れも発生した。男鹿市脇本浦田の小玉浩二さん（69）方では18日午後1時半ごろ、裏山の土砂が床下から家の中に入り込み、親類宅へ家族で避難。19日に自宅へ戻ると、家の基礎がずれていた。「こんな被害は初めて。自宅にはもう住めない。先のことを考えると言葉がない」と話した。

農林水産関係被害（21日9時30分現在 秋田県）

被害額

- ・1億3千30万円（林地・林道施設のみ、他調査中）

被害内容

- ・ほ場（田畑）の冠水・浸水等：3,740ヘクタール（水稻、えだまめ、花き等、作付状況は確認中）
- ・畜産施設の浸水等：6棟

- ・ 養殖施設の浸水：1か所
- ・ 林地の崩壊等：12か所

等

【報道】

- ・ 「2年続けこんな目に 記録的大雨、一つ森で土砂崩れ【動画】」 (2018/05/20 秋田魁新報)

大仙市協和峰吉川と寺館の両地区では午前3時ごろ、巡回中の国土交通省湯沢河川国道事務所の職員が氾濫を確認した。協和峰吉川では田畑が広い範囲で茶色い水に覆われた。農業村松徹さん(58)方では、ビニールハウス4棟全てが浸水。「トマトやキュウリを植える準備をしていた。全てやり直した。水路も直したばかりなのに」

協和峰吉川のコメ農家で作る「峰吉川ライスセンター利用組合」では、苗を保管するハウスや田んぼが冠水した。組合長の武藤多喜雄さん(70)は「苗の品種の区別がつかなくなってしまった。代かきもやり直した」とため息をついた。

県によると、19日午前11時現在、県内の田畑は少なくとも800ヘクタールが水に漬かり、被害は今後さらに拡大する見通し。

秋田県被害報：http://www.bousai-akita.jp/pages/index.html?article_id=400

報道

地元紙等

- ・ 「2年続けこんな目に 記録的大雨、一つ森で土砂崩れ【動画】」 (2018/05/20 秋田魁新報)

秋田市雄和向野では午前6時ごろ、氾濫が確認された。近くの女米木地区の国道341号には川から水が上がり、一部で冠水。住民は車を高台に移動させ、あふれ続ける水を不安そうに見つめた。

「いつ水があふれるか分からず、ほとんど眠れなかった」。建設業岸喜孝さん(69)は、雄物川に面する自宅が昨年の大雨で床上浸水し、復旧までに半年以上もかかったという。「強い雨が降るたびに、浸水におびえなければいけない。よそへ転居でもしないと、安心して暮らせない」と疲労感をにじませた。

- ・ 「冠水、浸水...昨夏思い起こし暮る不安 県内大雨」 (2018/05/19 08:01 秋田魁新報)

秋田県内は18日、記録的な大雨に見舞われた。田植えが終わったばかりの水田が冠水。川の水位はみるみる上昇し、避難勧告は広範囲に及んだ。昨夏の大雨を思い起こし、不安な表情を浮かべる住民もいた。

午後10時までの24時間降水量が155・5ミリと観測史上最大を記録した秋田市。避難勧告の対象となった金足片田地区では、片田公民館に10人が集まった。消防のボートで義母と避難した会社員佐藤美和子さん（57）は「無事避難することができて一安心だが、今後のことを考えると心配が尽きない」と話した。

氾濫危険水位に達した新城川の様子を見に来た石渡知恵子さん（65）は「気付けば自宅裏の空き地まで浸水していた。15年ほど住んでいるが、ここまで川の水があふれたことはなかった」と驚いた様子だった。

町内全域に避難勧告が発令された五城目町では、氾濫危険水位を超えた馬場目川沿いの水田が広範囲で冠水した。17日に田植えを終えたばかりという農家の男性（70）は「この時期の大雨被害は記憶にない。泥が流れ込むと、苗が駄目になってしまう」と不安そうに語った。

町内の富津内地区公民館には最大34人が身を寄せ、テレビが伝える大雨情報に見入った。昨年7月の大雨で自宅が床上浸水したという目黒ナカ子さん（65）は「また水が上がるんじゃないかと思うと不安で仕方ない」と話した

全国紙等

- ・ [「秋田 三種町 三種川があふれる 住宅など床下浸水」](#) (2018/05/18 19:29 NHK)

秋田県の実種町によりますと、町内を流れる三種川が増水してあふれ出し、これまでに住宅など5棟が床下まで浸水する被害が起きているということです。

三種町の下岩川地区では、地区を流れる三種川の支流が橋すれすれの高さまで増水している様子が見られました。また、増水した支流を住宅の中から不安そうに見ている住民もいました。

橋を通りかかった地区に住む女性は「急に増水して水位が上がった」と話していました

SNS

過去報

- ・ [20180518 秋田県など東北北部での豪雨災害\(第1報\)](#)
- ・ [20180518 秋田県など東北北部での豪雨災害\(第2報\)](#)

以上